

平成29年度千葉駅帰宅困難者対策実動訓練を実施します ～駅における情報伝達や一時滞在施設への避難誘導、外国人への対応訓練などを実施～

本市では、千葉駅における帰宅困難者発生時の対応能力向上及び関係機関の連携強化のため、11月9日（木）に帰宅困難者対策実動訓練を実施しますので、お知らせします。

1 趣旨・概要

首都直下地震等が発生した場合、千葉駅周辺では多くの帰宅困難者の発生が予想されることから、行政機関、鉄道事業者及び一時滞在施設等の対応能力向上と連携強化を図るため、JR千葉駅、京成千葉駅、モノレール千葉駅の3駅で、帰宅困難者への情報伝達や一時滞在施設への避難誘導等の訓練を実施する。

2 日時

平成29年11月9日（木）9：30～11：50

3 場所

JR千葉駅周辺
千葉市生涯学習センター（一時滞在施設）

4 主催

千葉県、千葉市、千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会

5 参加人数

約200人
（うち、帰宅困難者役 約120人（身体障害者6人、外国人4人））

6 訓練想定

千葉市直下を震源とする大規模な地震が発生。地震の規模は、マグニチュード7.3と推定され、千葉市内では震度6強の揺れに襲われた。

7 訓練の特徴

負傷者及び身体障害者への対応を行うほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、外国人への対応訓練を実施します。

なお、市内での帰宅困難者対策実動訓練は、平成24年度にJR海浜幕張駅、平成25年度に九都県市合同防災訓練の一環としてJR千葉駅を対象とした訓練以来、3回目となります。

8 訓練の概要

駅構内での利用者保護訓練の後、一時滞在施設への誘導、同施設での受け入れ訓練などを行います。終了後、参加の関係機関による意見交換会において訓練の振り返りを行います。

(1) 通信訓練

区役所と対策協議会各機関との間で情報収集・伝達訓練を実施する。

(被害情報、帰宅困難者発生情報、一時滞在施設の使用可否 等)

(2) 駅構内での利用者保護訓練

各鉄道事業者が、利用者を安全な場所へ誘導し、負傷者の応急処置を行う。

(3) 情報提供訓練

帰宅困難者に対し、一時滞在施設の開設状況等の情報提供を行う。

(4) 誘導訓練

各鉄道事業者が、帰宅困難者を一時滞在施設まで誘導する。

(5) 一時滞在施設受入訓練

施設の開設準備、帰宅困難者の受入及び物資の配布等を行う。

9 訓練の変更・中止

(1) 本市に気象警報の発表又は、震度4以上の地震が発生した場合。

(2) 訓練当日の午前7時に判断を行い、市危機管理課ホームページへの掲載及び参加機関へ連絡します。

10 取材について

(1) 当日会場には報道受付は設けていません。会場内では自社の腕章等を着用し、駅及び施設利用者、並びに訓練に支障がない場所で取材ください。

※事前受付も不要です。なお、報道機関向けの駐車場はありません。

(2) 会場内では係員の指示に従い、円滑な訓練の進行にご協力ください。

<参考>千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会について

1 設立経緯及び目的

平成23年3月の東日本大震災を契機に、県では同年12月に「駅周辺帰宅困難者等対策協議会設置のためのガイドライン」を作成し、大量の帰宅困難者等の発生が予想される駅ごとに行政と関係事業者等で構成する協議会を設置して、帰宅困難者等対策に取り組んでいくこととしています。千葉駅周辺においても東日本大震災で約1,800人(推計)の帰宅困難者が発生したことから、平成24年4月に駅を中心とした周辺の関係機関、行政機関や消防・警察の間で、共通の認識を持ち、対応に当たるための「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」が設置されました。なお、現在、県内には、「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を含め、10協議会が設立されています。

2 構成機関

東日本旅客鉄道(株)千葉駅・千葉支社、京成電鉄(株)、千葉都市モノレール(株)、千葉商工会議所、(株)そごう・西武そごう千葉店、(株)千葉センシティ、(株)千葉ショッピングセンター、京成ホテルミラマーレ、三井ガーデンホテル千葉、千葉中央警察署、千葉県警察千葉市警察部、千葉県鉄道警察隊、千葉市(区役所・消防局含む)、千葉県(管財課(本庁舎、中庁舎、南庁舎)、文化会館を含む)、千葉競輪場、千葉サイクル会館、千葉市生涯学習センター、(株)千葉ステーションビル、(一社)千葉県バス協会、財務省関東財務局千葉財務事務所